

# GIS を活用した防災教育・コンテンツ製作と学生からの情報発信

大分大学減災・復興デザイン教育研究センター 江内谷万緒・大野桃菜（大分大学大学院）

**キーワード** 防災、減災、防災教育、火山防災

## ①防災教育のためのコンテンツ製作と実践

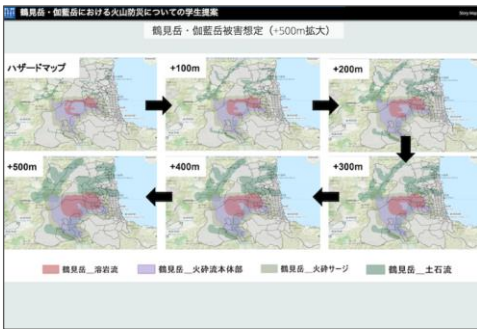
□ 鶴見・伽藍岳における火山防災 <https://arcg.is/0bq1bf>

地理院地図を活用した火山の模型を3Dプリンタにより製作した。また、ストーリーマップを活用した火山防災への学生提案や、子ども達向けの噴火のデモンストレーションも合わせてコンテンツとして製作・実演をしている。また、ドローンを活用した3Dデータの構築も図り、防災教育の展開も視野にコンテンツ制作を続けている。

▶ 子ども達への防災教育



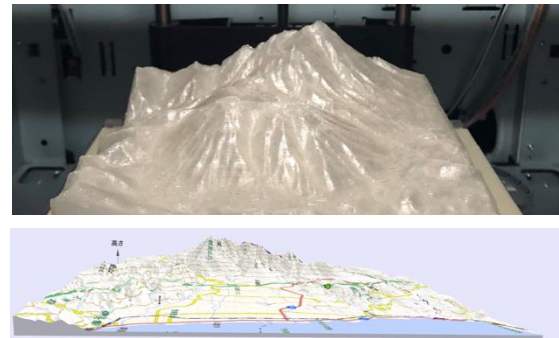
多様な災害リスクを抱える大分県において、防災教育を積極的に支援している。そのようななか、地理教育の面でも、GISや地図の利用は、地域を理解する面でも効果的である。



▲ 被災想定エリアの分析

研究成果の教育への反映

防災・減災意識の醸成へ



◀ 火山の模型（地理院地図活用）

## ②「ストーリーマップ」の活用による学生提案

▶ 地理院地図の活用

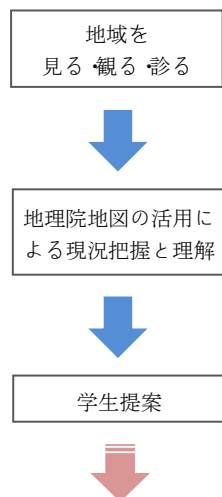


▶ 学生提案



平成 24 年・平成 29 年九州北部豪雨により被災した大分県日田市の被災地の現状について、フィールドツアーを通じて理解し、現下の地域的課題に加えて、フィールドツアー後に開催された「防災シンポジウム」において学生の目線からの課題解決方策の提案を「学生提案」として発表し、「ストーリーマップ」により取りまとめて公開している。別府市で開催した「火山防災のための調査・分析結果、対策の提案を行い、同様に公開している。

- 学生提案 <https://youtu.be/bsIv3R1E2vE>
- ストーリーマップ <https://arcg.is/0fbjnv>



持続的な取り組みと地域課題の解決へ